

経営比較分析表（平成30年度決算）

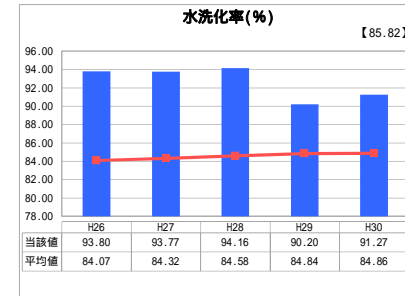
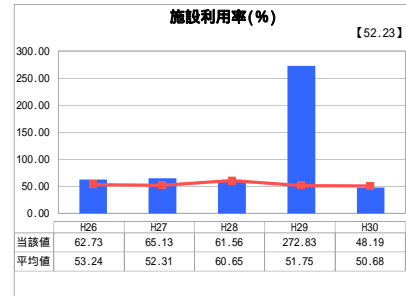
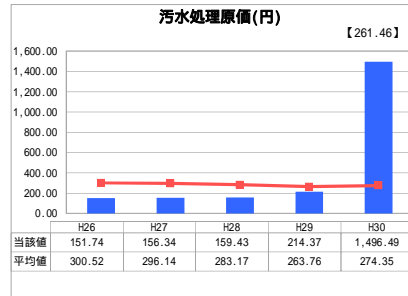
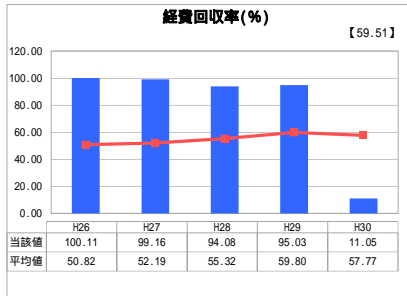
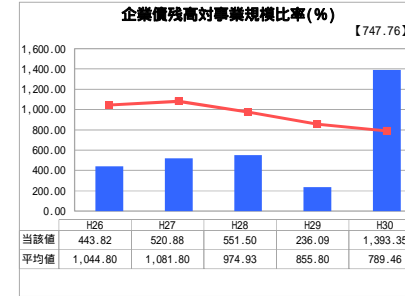
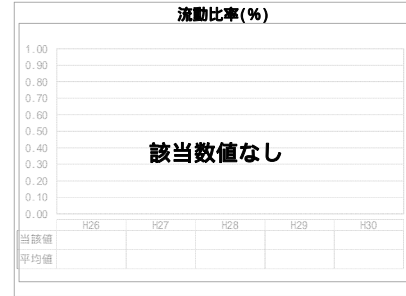
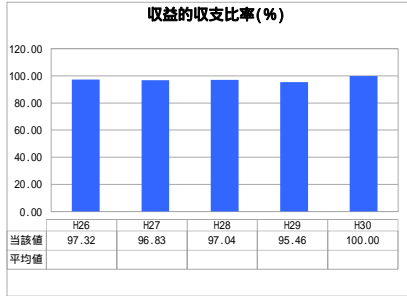
佐賀県 吉野ヶ里町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	4.13	95.12	3,564

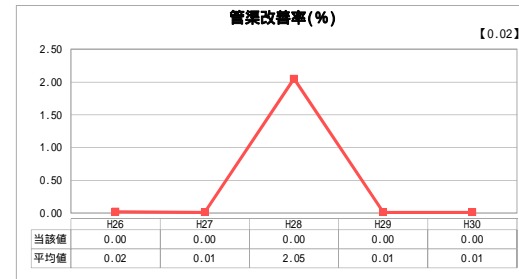
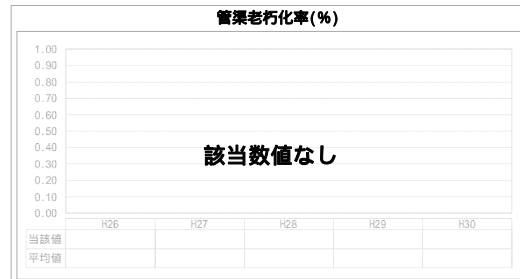
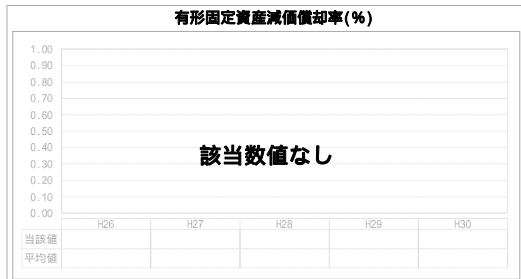
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
16,201	43.99	368.29
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
664	0.21	3,161.90

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 平成30年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ・収益的収支比率は100%の数値である。今後、老朽化等による施設等の改修も見込まれるため健全経営に努める必要がある。
- ・経費回収率は類似団体平均値を上回る90%程度で推移していたが、平成30年度は11%台に悪化した。不足分は汚水処理収益以外の収入(繰入金)で賄われている状況である。必要に応じて料金の見直しを検討する必要がある。
- ・経費回収率の減及び汚水処理原価の増の要因としてはH29年度に町内に4つあった農業集落排水処理施設のうち、3つを公共下水道へ移行したため、料金収入と汚水処理量が減ったためであると考えられる。

2. 老朽化の状況について

- ・平成8年3月の供用開始後24年が経過し、老朽化による施設の故障及び機能低下が発生している。また年々、維持修繕等にかかる費用も増加している。

全体総括

- ・最適整備構想に基づき、計画的な機械等の改修を行う必要がある。